

## 大沢地域幸せづくり活動プラン ～笑顔ひろがるせせらぎの里～

### 私たちの地域（地域の概要）

私たちの地域は、田園風景や恵まれた自然、大沢田植え踊り、大沢さんさ踊りなど伝統文化のほか、手打ちそばや雑穀料理などの豊かな食文化等、馬と人が共生する南部曲り家など様々な地域資源があり、歴史的な財産や文化を大切にする風土があります。

また、高齢者との交流会や防災点検・環境美化活動等のコミュニティ活動が盛んであり、定住しやすいような活気のある地域づくりが展開されています。



目指す！  
地域の姿

豊かな田園風景や地域の持つ自然、  
歴史を大切にし、多様な人々が真心でふれあう  
やすらぎのある郷づくり

☆大沢地域づくり懇談会  
(大沢自治会)

【計画期間：平成27年度～平成34年度】

## 1 地域の宝物

私たちの地域には、自然・歴史・文化に育まれた伝統芸能・食文化・景観・自然環境など、みんなで守り育て、次の世代に継承したい宝物があります。



岩手山と田園風景



南部曲り家とチャグチャグ馬コ



大沢田植え踊り



大沢さんさ踊り



おおさわ祭り



大沢保育園

## 2 地域情報

私たちが暮らしている地域の人口・世帯数・年代別人口や産業別人口、地域の様々なサービス施設の情報を地域のみなんで共有し、私たちの幸せ地域づくり活動に活用しましょう。

### ■ 大沢地域の情報

			大沢地域		滝沢市		摘要
			人(世帯)	割合	人(世帯)	割合	
1	人口		622	1.1%	55,170		H26.10末
2	世帯数		220	1.0%	21,931		H26.3末
	高齢者世帯		51	23.2%	3,947	18.0%	(全市から自衛隊等を除く)
	うち高齢者1人世帯		31	14.1%	2,135	9.7%	
3	産業別人口		377	1.4%	26,478		H22 国勢調査
	1次産業		77	20.4%	1,374	5.2%	
	2次産業		79	21.0%	5,683	21.5%	
	3次産業		221	58.6%	19,421	73.3%	
4	年代別人口		617	1.1%	54,207		H26.10末 (全市から自衛隊等を除く)
	すこやか世代	0~5	19	3.1%	2,561	4.7%	
	学び・成長世代	6~17	56	9.1%	6,735	12.4%	
	自立世代	18~34	94	15.2%	10,086	18.6%	
	子育て世代	35~49	105	17.0%	11,419	21.1%	
	充実世代	50~64	147	23.8%	11,491	21.2%	
	円熟世代	65~	196	31.8%	11,915	22.0%	

### ■ 大沢地域公共施設情報（※印のあるところは指定避難所です。）

施設名	住所	連絡先	施設名	住所	連絡先
大沢保育園	大沢堰合 32-2	687-2509	※滝沢南中学校	鵜飼滝向 11-1	687-2021
※篠木小学校	篠木中屋敷 60	687-2064	※大沢集落センター	大沢堰合 20-3	687-4306
JA新しいわて マテリアルセンター	大沢鶴子 126	687-3011	NPO法人馬と 曲り家のおおさわ村	大沢籠屋敷 24	684-3211

### 3 私たちの地域の課題

私たちが住み続けていくためには、生活環境を維持・向上を目指して、地域が主体となって地域の課題を解決するとともに、地域と行政が連携して取り組む必要があります。

#### 地域整備の課題（地域と行政が連携し取り組む課題）

- ▶ 1. 大沢保育園周辺の交通安全の確保のため市道中道堰合線の拡幅改良が必要です。
- ▶ 2. 観光客のアクセス向上を図るため市道堰合籠屋敷線の拡幅改良が必要です。
- ▶ 3. 集会施設が狭く大勢の住民が集まることが出来ません。
- ▶ 4. 遊休農地の発生防止と解消へ向けた対策が求められています。
- ▶ 5. 市街地や主要公共施設への交通手段の検討が必要です。
- ▶ 6. 上下水道の未整備地区解消のために地域で話し合いをします。

#### 地域活動の課題（地域で取り組む課題）

- ▶ 1. 通過交通の増加により歩行者の安全確保が課題です。
- ▶ 2. 世代間交流を活性化し伝統文化の継承に取り組む必要があります。
- ▶ 3. 持続可能な地域づくりのため6次産業化への取り組みが必要です。
- ▶ 4. 高齢化社会に対応した地域での見守り体制の確立が求められます。

## 4 幸せづくり計画

### ① 地域づくりの基本方針

私たちの地域の目指す姿を実現するために、住民・自治会・関係団体などと行政が連携・協働して、地域づくりを推進していきます。

#### 基本方針 1

やすらげる住環境を大切にし、

子どもや高齢者でも安心して歩ける地域にしよう

- ▶ 1. 地域で大沢親子広場の清掃活動を行います。
- ▶ 2. 自主防災機能を高め、消火栓や防犯灯を点検します。
- ▶ 3. ゴミだしルール周知徹底を図り、互いに声を掛け適正なゴミ集積所の管理を心がけます。
- ▶ 4. 「まごころ給食」の実施など地域協働で見守り体制を確立し、安全安心な地域をつくりまします。

#### 基本方針 2

住民どうしが交流しながら、

若年層が定住しやすい元気な地域コミュニティをつくろう

- ▶ 1. 「おおさわ祭り」などの地域ににぎわいと交流が生まれる行事を企画します。
- ▶ 2. 「百寿会」や「大沢保育園」の活動を支援し、幼児から高齢者までみんなが元気な地域を目指します。
- ▶ 3. 地域内に放課後の子どもの居場所の運営を検討します。
- ▶ 4. スクールガードをはじめ地域で交通安全に取り組みます。

基本方針3

地域の歴史的な財産、伝統芸能やふるさとの小川や山を大切に  
して  
次世代に伝えよう

- ▶ 1. 「南部曲り家」の保全活動を推進します。
- ▶ 2. 田園風景に配慮したまち並みを目指し景観形成住民協定を検討します。
- ▶ 3. 伝統芸能の保存伝承のため、保存会、自治会や学校も含めた支援体制を検討します。
- ▶ 4. ホタルが舞う環境を大切にします。

基本方針4

地域外の人でも楽しく過ごせる場をつくり、にぎわいある地域にしよう

- ▶ 1. 南部曲り家を中心ににぎわいのある行事を通年で企画します。
- ▶ 2. 観光客が心地よく過ごせるよう環境整備を進めます。
- ▶ 3. 農業を活用した交流事業を企画実施します。
- ▶ 4. 地域産品を活用した特産品づくりに取り組みます。

## 4 幸せづくり計画

### ②地域の幸福環境要素と活動モデル

私たちの地域で幸せに暮らすために、各世代が幸福実感一覧表から象徴的要素・象徴指標を選択し、幸福を実感できる地域を実現するための活動モデルとそれを推進する活動団体・組織を明らかにします。

#### ☆すこやか世代（0～5歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
親以外に、（子どもの）世話をしてくれる人がいること
- ②象徴指標  
子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合
- ③活動モデル  
・親などが、子どもと一緒に、近所の人との挨拶を大切にする  
・大人が、子どもが気軽に行き来できるような近所づきあいを心掛ける
- ④どのように具体的に取り組むか  
地域の方々に元気にあいさつをする
- ⑤活動団体・組織  
保育園、子ども会育成会、自治会 ほか

#### ☆学び・成長世代（6～17歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
地域の皆さんに（子どもが）見守られていること
- ②象徴指標  
子どもが安全に通学できていると感じる人の割合
- ③活動モデル  
（子どもが）地域のお祭りや行事へ参加する
- ④どのように具体的に取り組むか  
子ども会の活動を地域で支援する
- ⑤活動団体・組織  
子ども会育成会、PTA、スクールガード、NPO、まちづくり推進委員会、自治会 ほか

☆自立世代（18～34歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
地域の皆さんと交流の機会があること
- ②象徴指標  
地域のお祭りや行事に参加した回数
- ③活動モデル  
地域のお祭りやサークルなどに参加する
- ④どのように具体的に取り組むか  
「おおさわ祭り」に参加する
- ⑤活動団体・組織  
保育園、PTA、NPO、まちづくり推進委員会、自治会 ほか

☆子育て世代（35～49歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
安定した生活を送るための、家族の支え合いがあること
- ②象徴指標  
家族の支えのおかげで仕事に専念できていると感じる人の割合
- ③活動モデル  
育児について、相談・助言してくれる相手を持つ
- ④どのように具体的に取り組むか  
地域の活動や保育園・小学校の運動会に、積極的に参加する
- ⑤活動団体・組織  
保育園、PTA、まちづくり推進委員会、婦人会、自治会 ほか

☆充実世代（50～64歳）

- ①幸福感を育む象徴的要素  
老後の生活設計が描けること
- ②象徴指標  
老後の生活設計に不安がない人の割合
- ③活動モデル  
積極的に近所の方々の顔を覚え、挨拶をする
- ④どのように具体的に取り組むか  
地域活動に積極的に参加する
- ⑤活動団体・組織  
まちづくり推進委員会、NPO、自治会 ほか



☆円熟世代（65歳～）

- ①幸福感を育む象徴的要素
  - i 地域の伝統・文化や芸能など、次世代に継承できる機会があること
  - ii 豊かな自然とふれあいながら、健康増進が図られる機会があること
- ②象徴指標
  - i 地域の伝統・文化や芸能などに親しむ機会があると感じる人の割合
  - ii 自分の散歩コースを持っている人の割合
- ③活動モデル
  - i 地域の伝統・文化を鑑賞する機会を持つ
  - ii 日々、家の回りの美化、清掃に取り組む
- ④どのように具体的に取り組むか
  - i 地域行事や地域活動に積極的に参加する
  - ii 家庭菜園に取り組む
- ⑤活動団体・組織  
まちづくり推進委員会、NPO、老人クラブ、自治会 ほか

## 地域の幸福環境要素と活動モデル一覧表

ライフ ステージ	幸福感を育む 象徴的要素	象徴指標	活動モデル	どのように具体 的に取り組むか	活動団体 ・組織
すこやか世代 (0～5歳)	親以外に、(子ども の)世話をしてく れる人がいること	子どもを安心して 預けられる相手 がいる親の割合	i 親などが、子 どもと一緒に、近 所の人との挨拶 を大切にする ii 大人が、子 どもが気軽に 行き来できるよ うな近所づきあ いを心掛ける	地域の方々に元 気にあいさつを する	保育園、子 ども会育成会、 自治会 ほか
学び 成長世代 (6～17歳)	地域の皆さんに (子どもが)見守 られていること	安全に通学でき ていると感じる 人の割合	(子どもが)地 域のお祭りや行 事へ参加する	子ども会の活 動を地域で支 援する	子ども会育 成会、PTA、 スクールガー ド、NPO、 まちづくり推 進委員会、自 治会 ほか
自立世代 (18～ 34歳)	地域の皆さんと 交流の機会があ る	地域のお祭りや 行事に参加した 回数	地域のお祭り やサークルなど に参加する	「おおさわ祭 り」に参加す る	保育園、PT A、NPO、 まちづくり推 進委員会、自 治会 ほか
子育て世代 (35～ 49歳)	安定した生活を送 るための、家族 の支え合いがあ る	家族の支えのお かげで仕事に専 念できていると 感じる人の割合	育児について、 相談・助言して くれる相手を持 つ	地域の活動や 保育園・小学 校の運動会に、 積極的に参加 する	保育園、PT A、まちづく り推進委員 会、婦人会、 自治会 ほか
充実世代 (50～ 64歳)	老後の生活設計 が描ける	老後の生活設計 に不安がない 人の割合	積極的に近所 の方々の顔を 覚え、挨拶を する	地域活動に積 極的に参加す る	まちづくり 推進委員会、 NPO、自治 会 ほか
円熟世代 (65歳～)	i 地域の伝統・ 文化や芸能など 、次世代に継承 できる機会があ る ii 豊かな自然と ふれあいなが ら、健康増進が 図られる機会 がある	i 地域の伝統・ 文化や芸能など に親しむ機会 があると感 じている人の 割合 ii 自分の散歩 コースを持っ ている人の割 合	i 地域の伝統・ 文化を鑑賞す る機会を持 つ ii 日々、家の 回りの美化、 清掃に取 り組む	i 地域行事や 地域活動に積 極的に参加 する ii 家庭菜園に 取り組む	まちづくり 推進、NPO、 老人クラブ、 自治会 ほか

5 私たちのあゆみ  
(活動記録)

私たちが「滝沢地域デザイン」をもとに2000年から地域の資源を活用し、地域の課題を解決するために、地域のみなさんとの連携・協働によって様々な地域づくりに取り組んできました。その活動記録を私たちのあゆみとしてまとめました。

年月日	主要な活動の記録
2002年〔H14年〕	・大沢地域まちづくり推進委員会設立 (環境、福祉、交通の3部会の推進体制)
2003年〔H15年〕	・ごみ分別推進事業(ごみ出しモラルの向上を図るため、地域各戸に独自ごみ袋を配布。集積所でごみ分別の管理を行う。)
2004年〔H16年〕	・地域住民が助け合う心安らぐ里づくり事業(要支援、高齢者等の支援を行うボランティアの育成を図る)
2005年〔H17年〕	・せせらぎ水路整備事業(子どもたちが水辺に親しめる場所、水棲生物が繁殖できる場所を整備)
2007年〔H19年〕	・せせらぎ水路整備事業(越前堰上流に蛍を呼び、新住民とのふれあいを促進するための水路整備工事)
2008年〔H20年〕	・せせらぎ水路整備事業(水路周辺へ植栽、看板設置) ・せせらぎ水路についてアドプト協定締結(滝沢村、越前堰土地改良区、大沢地域まちづくり推進委員会) ・草の根コミュニティ大学開校(地域の活性化や将来像について話し合いを実施)
2009年〔H21年〕	・地域の宝活用研究事業(地域の宝物を観光活用することについての研修会実施)
2010年〔H22年〕	・地域の宝活用研究事業(大沢まるごと体験ツアーの実施)
2011年〔H23年〕	・地域の宝活用研究事業(馬耕や代掻きの再現、田植え等の農作業体験実施、収穫した米を被災地へ届ける)

2012年〔H24年〕	・NPO馬と曲り家のおおさわ村設立（地域資源、伝統文化の振興及び保存伝承事業を通じて地域社会の発展に寄与する目的で設立）
2013年〔H25年〕	・南部曲り家「藤倉邸」の茅葺屋根の葺き替え作業着手 ・第1回おおさわ祭り開催
2014年〔H26年〕	・大沢屋号マップ作成事業（歴史、文化を次世代に伝え、住民間・世代間のコミュニケーションを深めることを目的） ・景観からの地域づくり（景観点検）事業（南部曲り家を後世に残すため茅葺技術後継者育成講座を開催。パンフレット「せせらぎの里 大沢」作成、地域の美しい景観を紹介）



### 大沢地域づくり懇談会

大沢自治会役員、大沢地域まちづくり推進委員会、老人クラブ、子ども会育成会、滝沢南中学校PTA、消防第3分団、婦人会、市議会議員、農業委員、民生児童委員、岩手山麓土地改良区理事、大沢農業振興推進組合、大沢農家組合（順不同）